

# 図書室より 「新着図書」 のお知らせ

2024年

〈一般書〉

第171回芥川賞受賞



## 「サンショウウオの四十九日」 朝比奈秋

同じ身体を生きる姉妹、その驚きに満ちた普通の人生を描く

周りからは一人に見える。でも私のすぐ隣にいるのは別のわたし。不思議なことはなにもない。  
けれど姉妹は考える、隣のあなたは誰なのか？ そして今これを考えているのは誰なのか――

## 「バリ三行」 松永K三蔵

会社も人生も山あり谷あり、バリの達人と危険な道行き。圧倒的生の実感を求め、山と人生を重ねて疾走する純文山岳小説。

## 「じい散步」 藤野千夜

夫婦あわせて、もうすぐ180歳。中年となった3人の息子たちは、全員独身――。明石家の主、新平は散歩が趣味の健啖家。妻は、散歩先での夫の浮気をしつこく疑っている。長男は高校中退後、ずっと引きこもり。次男はしっかり者の、自称・長女。末っ子は事業に失敗して借金まみれ。……いろいろあるけど、「家族」である日々は続いてゆく。覗々としたユーモアと温かさがじんわりと胸に沁みる、現代家族小説の白眉。



〈児童書・絵本〉

## 「泣けるいきもの図鑑」 今泉忠明

「脂肪のせいで上手くもぐることができない」アザラシや「毎日10分しか眠ることができない」キリンなど、生き物77種のかわいそうでいじらしい生態を紹介！さらに、「忠犬ハチ公」など感動の実話も11話収録。感動泣きから笑い泣きまで、この一冊！

## 「もうじきたべられるぼく」 はせがわゆうじ

第7回 未来屋えほん大賞受賞!!

ひと目、お母さんに会いたくて

「ぼくはうしだから もうじきたべられる」

運命を受けいれたぼくが 向かった先は……

そして、ぼくが下した決断は――

